

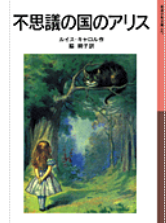
スライドで巡る「不思議の国のアリス」



今年は「不思議の国のアリス」が誕生して150年！
舞台となったイギリスの町オックスフォードには物語誕生の秘密がいっぱい。
一度は訪れてみたいアリス・スポットをスライドで巡ります。

『不思議の国のアリス』あらすじ

夏の昼下がり。川辺で退屈をもてあましていたアリスの前を突然、白ウサギが駆け抜けた。「大変だ、遅刻しそうだ！」と大慌てのウサギ。アリスは好奇心にかられて、ウサギの後を追って巣穴へ飛び込んだ。ぐんぐん、ぐんぐん落ちていき、そこにはまさに不思議の国が広がっていた。奇妙な事件がアリスの身にふりかかり、チェシャ猫、イモムシ、ドードー鳥といったユニークなキャラクターと次々に出会う。少女アリスが奇妙でおかしな大冒険をする物語。



『不思議の国のアリス』
ルイス・キャロル著、岩波書店より

日時 平成**27**年**5**月**24**日(日)

午後1時半～3時半(開場 午後1時)

場所 中央図書館3F視聴覚室

対象 中学生以上

定員 50名(先着順)

申込み 平成27年4月21日(火)午前10時から

中央図書館 042-345-1246

ルイス・キャロル 1832～1898

イギリスの児童文学作家。『不思議の国のアリス』
『鏡の国のアリス』が代表作。

講師 ^{いけだ まさよし}池田 正孝さん

中央大学名誉教授 前東京子ども図書館評議員

今から30年ほど前からヨーロッパの児童文学作品にゆかりの土地を訪ね、物語の舞台や作者の生まれ故郷等をスライド写真に記録し、帰国後に各地の図書館や家庭文庫の集会で児童文学講演会を開催しています。

主催 小平市教育委員会・小平市子ども文庫連絡協議会